

おばらだより



Data

人口	3,243人	(- 9)
男性	1,573 人	(- 3)
女性	1,670 人	(- 6)
世帯数	1,481世帯	(- 4)
令和5年度出生者数	4人	
10月1日現在	()内前月比	

Pick Up

- 2 わくわく事業の活動紹介
- 3 四季桜ウォーク大会
- 4 地域会議委員を公募

制作者の皆さんのは思いや祈りが込められた素敵なお軽トラは、行く先々の沿道で光る棒(サイリウム)を持つ大勢の方々の歓声に包まれ、小原の暗闇に美しく、優しい灯りの華を咲かせました。来年はどのような作品が披露されるのか、今から楽しみです。

このパレードは、平成24年に始まり、今回で第12回となります。今年も、名古屋市や長久手市など地域外の団体からも参加がありました。17台の軽トラあんどんが、出発地点である小原和紙のふるさと駐車場に集結し、地区全域の42kmを約3時間かけて巡りました。

10月7日(土)、わくわく事業の活動団体であるオバラへあかりの華プロジェクトが主催する「あかりの華を咲かせましょう 祈りのあんどんパレード」が開催されました。

今月の
表紙
**第12回 軽トラ
あんどんパレード**

あかりの華を咲かせましょう

※おばらだよりは豊田市ホームページからも見ることが出来ます。 <http://www.city.toyota.aichi.jp/>

令和5年度わくわく事業の活動紹介

わくわく

【団体名】とよた衣の里プロジェクト

【代表者】大林 優子

【事業の目的】

かつて「衣の里」と呼ばれた豊田市で養蚕業をもう一度行き、伝統文化を守りたい。山里では自然の営みであるローテクノロジーライフを地域の活性力とし、子どもから高齢者まで、心身の豊かなコミュニティになることを目指す。

【活動紹介】お蚕さんの飼育体験(餌やり)&養蚕の工程を知ろう!

10月7日(土)、養蚕の工程と飼育体験(餌やり)を学ぶ見学会が養蚕体験施設(小原トレーニングセンター下)で開催されました。

この見学会には、22名が参加し、蚕の習性や飼育方法、絹ができる工程、養蚕の道具等の説明を興味深く聞いていました。

また、実際に蚕に触れて餌やりを体験し、餌となる桑の栽培や食べる姿の観察について学んでいました。

日本の養蚕家が減少する中、養蚕業の伝統を守り、継承するため、代表である大林さんは、「小さな養蚕家を増やしていきたい」「子ども達にはゲームではなく、自然の物に触れて学んでもらいたい」と、意気込みを語っていました。



【団体名】oyatoco

【代表者】白川 悠理

【事業の目的】

子育て世帯の交流や教育の場と拠点を作り、地域の人や場所を活かした小原ならではの子どもの居場所を創造する。

【活動紹介】ハイキング & ピザ作り会

10月9日(月)、「ハイキング＆ピザ作り会」が西村自然農園で開催されました。

このイベントには、15名の子ども達が参加し、西村自然農園の方にご協力いただき、一人一人がピザ生地からオリジナルピザを作りました。また、栗ご飯をはじめ、季節の食材をたっぷりと使ったご飯を美味しそうに食べていました。



記事の記載誤りについて(お詫び)

おばらだより10月号に掲載した「令和5年度わくわく事業の活動紹介」でわくわく事業団体「oyatoco」の活動紹介の文章が以下のとおり、間違っていました。ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

(誤り) 中部小学校区発展委員会、ゴム鉄砲作り

(訂正) 本城小学校区発展会、ゴム鉄砲による的当て

【団体名】小原鬼ごっこサークル

【代表者】奥田 知史

【事業の目的】

スポーツ鬼ごっこやイベント開催を通し、「ともに楽しむ」ことで地域の人のつながりを育む環境を整え、子どもの健全育成及び地域の活性化に寄与する。

【活動紹介】スポーツ鬼ごっこ体験会

9月30日(土)、10月8日(日)の2日間、「スポーツ鬼ごっこ体験会」が小原ふれあい公園及び小原交流館ふれあいほーるで開催されました。

この体験会には、約30名が参加し、東海地区唯一の日本代表選手である奥田知史さんの指導のもと、手拍子や音楽に合わせて体を動かすトレーニングや競技のルール説明、実際の競技が行われました。奥田さんは、参加者に「失敗しても良い」「いっぱい失敗しようね」と優しく声をかけて、参加者を励ましていました。また、最後まで諦めずに頑張る姿を見て、体験会の参加者や会場の保護者等からは、「すごい」「頑張ったね」という声や拍手が贈られていました。スポーツ鬼ごっこが普及し、地域の人たちがつながり、地域が活性化する取組が広がることを期待しています。



【団体名】小原4楽夢

【代表者】加藤 博道

【事業の目的】

オペラ歌手やジャズバンドとともに地域住民と創りあげる音楽により、文化と芸術薫る地区として、郷土への愛着と誇りの醸成を図る。

【活動紹介】地域皆で参加し、音楽を楽しもう♪

OBARA やまとコンサートⅢ

12月3日(日)

開場: 12時30分

開演: 13時30分

会場: 小原交流館 ホール

入場無料(先着300名)

*入場は事前申込み優先です。



【演 目】

第1部: どこかで聴いたあの名曲

【出演】伊藤亜希子(ピアノ)、水野妃佐子(メゾソプラノ)

第2部: ジャズ演奏

【出演】原努力ルテット

「子ども達との竹楽器コラボ」や「小原の情景」映像も投影!

【事前申込み・問合せ】

「電話」又は「小原交流館窓口で申込み」

小原4楽夢 代表 加藤博道 ☎090-3958-8947

小原中部小学校運動会

10月21日(土)、小原中部小学校で運動会が開催されました。今年の運動会は「まい上げれ 42人のかがやく笑顔」をテーマに、「嵐をおこせ(棒持ち競争)」「ひっぱれ！ひっぱれ!!(綱引き)」「心を合わせて1, 2, 3!!(巨大パンツリレー)」「魅せろ！中部っ子魂!!(ソーラン)」「夢の国へようこそ！(ダンス)」「親子で！かごいっぱい!!(玉入れ)」「来年よろしくね(園児による短距離走)」「中部っ子リレー」の8種目の競技が行われました。

会場からの温かく大きな声援や拍手を受け、赤と白に分かれた児童は、最後まで諦めずに全力を尽くして頑張っていました。

また、ソーランやダンスでは、会場全体にたくさんの笑顔の花が咲き、華やかで楽しい運動会でした。



道慈小学校運動会

10月14日(土)、道慈小学校で運動会が開催されました。今年の運動会は「魅せつけろ！汗でかがやく道慈魂」をテーマに、「玉入れ」「障害物競争」「台風の目」「棒取り合戦」「ポピラビダンス」「道慈の舞(ソーラン)」「全校リレー」の7種目の競技が行われました。

紅白に分かれたチームが勝利を目指し、共に力を合わせて、日頃の練習の成果を思う存分発揮していました。会場の生徒や保護者等からは、「頑張れ！」と大きな声援や拍手が送られていました。

また、子ども達が最後まで全力で頑張る姿や、道慈魂を見せようという気持ちがたくさん伝わってくる、素晴らしい運動会でした。



第20回 四季桜 ウォーク大会

令和5年11月26日(日)開催！

申込方法

募集人数 … 200名(先着順)

申込先 … 豊田市役所 小原支所
(申込用紙を持参・郵送・FAX)
締切 … 11月17日(金)

みんなで楽しく
参加してね！
待ってまーす☆

- ✓ 2~6人のチームでお申し込みください。
- ✓ 申込用紙は豊田市役所小原支所・交流館・豊田市ホームページから入手できます。

参加費	コース	場所・時間
200円／人 当日払い・傷害保険料含む (未就学児 無料)	四季桜と紅葉が彩る 5 km お楽しみ抽選会を実施	集合場所 緑の公園 (豊田市市場町陣出879) 受付時間 8時40分～

【問合せ・申込】四季桜ウォーク大会実行委員会事務局
(豊田市役所 小原支所内)
TEL 65-2001 / FAX 65-3695

移動動物園

10月11日(水)、大草こども園にふれあい移動動物園(いちご動物園)がやってきました。この行事には、大草こども園と道慈こども園に通う63名の園児が参加しました。

この日は、7種類の動物(ウサギ、モルモット、カメ、羊、ヤギ、ロバ、犬)が園庭に集まりました。

園児は、動物園のお兄さんとお姉さんに動物の触り方や餌のやり方を教わり、最初は自分より大きな動物たちに怖がりながら近づいていましたが、何度も餌を与えることで、動物たちに慣れていく様子が見られました。

また、園児や保育士は「カメの性別の見分け方」や「羊に尻尾がない理由」、「ロバの視界の広さ」など、動物の特徴について教わり、驚いたりしながら、実際に動物たちとのふれあいを楽しんでいました。

行事の後半には、園児や保育士の目の前でウサギの腹話術トークや犬の芸(指の数だけ吠える、ハイタッチ、ジャンプ、フリスビーキャッチ等)が披露され、「頑張れ」と応援したり、芸が成功した時は大きな拍手や「すごい！」という歓声があがりました。最後は、多くの園児が笑顔で「楽しかった」と手をあげて答え、動物園のお兄さんに「ありがとうございました。」と感謝の気持ちを伝えました。





駐在所だより

キャッシュカードを狙った詐欺にご用心

愛知県内では、警察官や銀行職員等を名乗る者からの電話により、暗証番号を聞き出され、キャッシュカードをだまし取られる被害が多発しており、当署管内でも被害の発生や、予兆電話が多数確認されています。

対策として、犯人と直接話さないために留守番電話設定にする。直接話をした場合でも、お金やキャッシュカードの話が出たら、すぐに電話を切って家族や警察に相談することを心がけましょう。

犯人の手口の一例

「あなたのキャッシュカードが悪用されている」
「今から、警察官を家に向かわせます」
「暗証番号を教えてください」



警察への相談は#9110または最寄りの警察署へ

夕方の5~7は魔の時間

歩行者の交通事故は、辺りが暗くなり始める午後5時から午後7時(5~7)に多発しています。車は日没時刻のおおよそ1時間前にライトを点灯し、歩行者は明るい服装と反射材を活用しましょう。



点灯時間の目安

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17:00	16:30		16:00		16:30	17:00

駐在所への連絡は ☎35-0110(豊田警察署)へ
駐在所へつないでもらえます

大草子育て支援センターからのお知らせ

☆12月のイベント☆

○7日(木)

親子食育講座(1歳~)

10:00~11:00(要予約)

(LINEにて予約をお願いします)

※自宅で検温してから出かけましょう。

※水分補給は各自でお願いします。



✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿

【園庭・室内開放】(予約の必要はありません)

平 日:午前9時~正午、午後1時~5時

※行事等で室内の利用ができない場合があります。

詳しくはこども園にお問い合わせください。

【問合せ】大草こども園
☎65-2045

あなたの意見をまちづくりに活かしましょう
地域会議委員を公募します

公募委員 募集要項

■応募資格

小原地区に住所を有する方

■募集人数

4名程度(総委員数は20名程度を予定)

■任期

2年(再任可)

■報酬

委員の報酬は支給されません。ただし、費用弁償として、1回1,000円が支払われます。

■選考方法

書類審査と面接審査により選考します。

■応募方法

応募用紙に必要事項を記入のうえ、豊田市役所小原支所に持参、郵送、ファックス又はメールのいずれかの方法で提出してください。

※応募用紙は、支所で配布(市のホームページからもダウンロードできます)

■提出期限

令和5年11月30日(木)まで

■地域会議とは

地域会議は、地域の様々な課題や問題を地域自らが考え、解決するために、中学校区単位に設置された行政機関です。

地元のことを良く知る地域住民が主役となって、暮らしを良くするためのまちづくりを進めていきます。

■小原地域会議の取組

- ①まちづくり計画「おばらみらいプラン」の策定、進捗管理
- ②地域課題と解決策(地域課題解決事業)の検討、進捗管理
- ③諮詢答申
- ④まちづくり団体情報交換会等の開催や支所だより(おばらだより)による情報発信の実施など

【提出先・問合せ】豊田市役所小原支所

〒470-0592 豊田市小原町上平441-1

☎65-2001 FAX65-3695

✉obara-shisho@city.toyota.aichi.jp

小原福祉センター ふくしの里からのお知らせ

湯ったり のんびり

ふくしの湯

ジェットバスついています

※温泉ではありません

利用日時	月曜日~土曜日 午前10時~午後4時 ※日曜日・祝日・年末年始 お休み	
利用料	60歳以上の方、 障がい者、児童	1人 300円
	一般	1人 600円

【問合せ】小原福祉センター ふくしの里
☎65-3350

小原交流館だより

豊田市小原交流館
小原地区コミュニティ会議事務局
豊田市永太郎町落 681-1
TEL / 0565-65-3711
FAX / 0565-65-1189
<http://ph-toyota.jp/guide/obara/>

令和5年度 小原文化まつり with 小原中学校学校祭を開催しました！

10月29日(日)に小原文化まつりが開催され、多くの人が集まり賑わいました。
世代を超えてたくさんのふれあいが見られ、笑顔いっぱいの一日となりました。



自主グループ活動紹介

絞りのひもをほどく時、「わあ～」という歓声の上がる「草木染」活動日の様子。この日は、四季桜の枝を煮出した染液で、手ぬぐいと風呂敷を薄いピンク色に染めて色の変化や風合いを楽しみました。「小原の良さを伝えたい」との想いで四季桜まつりの観光協会出店ブースに作品を並べ、販売にも挑戦する予定です。

草木染



コミュニティ会議より

<青少年福祉部会>

「消費者被害未然防止講座」



【日 時】12月16日(土)14:00~15:00

【場 所】小原交流館ホール

【内 容】豊田消費生活センター所長の講話
落語家 微笑亭さん太による落語

【対 象】どなたでも 【定員】200名

【申込み】11月11日(土)10:00~

※詳しくはチラシをご覧ください。



コミュニティ会議 文化部会 文化交流研修

稻武の小田木人形座

稻武地区小田木は古くから人形の郷として知られ、小田木八幡神社の境内に設けられた人形舞台では、五穀豊穣を祝って人形淨瑠璃が奉納されていました。139年ぶりに復活をし、現在活躍中です。



9月23日(土)、歌舞伎伝承館に稻武の小田木人形座を迎える。活動の歴史や復活に至る講演の後「寿式三番叟」を観賞しました。人形の頭と足の操作や一体の人形を3人で動かす仕組みも教えていただきました。人形淨瑠璃の素晴らしさに触れ、伝統文化継承の大切さを学ぶ時間となりました。



和紙のふるさと通信

<http://www.washinofurusato.jp>

豊田市永太郎町洞 216-1
小原和紙美術館 TEL0565-65-2151
和紙工芸体験館 TEL0565-65-2953

おばらマルシェ With 和紙良いフェスタ

令和5年11月18日（土）

和紙良いフェスタ

会場 小原和紙のふるさと
時間 10:00～15:00 少雨決行

今年も『和紙良いフェスタ』をおばらマルシェとコラボして開催します。

『おばらマルシェ With 和紙良いフェスタ』としてワークショップやいろいろな催しをご用意しました。昨年もたくさんの方がご来場ください楽しんでいただきました。今年も多彩なイベントや楽しいワークショップがありますので、大人の方もお子様も楽しんでいただけると思います。

また美術館では、地元の豊田小原和紙工芸作家 加藤英治氏による、ポスト豊田国際紙フォーラム『蓬萊のあかり展』を開催中です。美術館にもぜひお越しいただき、芸術の秋を肌で感じてください。

今年のワークショップは
「万華鏡」と
「和紙の花ランプ」



変更になることがあります。

◆和紙ふるトピックス◆

ちびっ子記者たちがきました

10月3日（火）小原中部小学校2年生10名が校外学習として小原和紙のふるさとを訪れました。美術館では小原和紙工芸作家の作品について、1人ひとり自分の選んだ作品の前で、体験館ではトロロアオイなどについて担当者に質問しました。ちびっ子記者からは、子どもらしい率直な質問や専門的な項目の質問などがあり、担当者が回答に苦心していました。



産業フェスタに参加しました

9月30日（土）、10月1日（日）の2日間、豊田スタジアムで開かれた産業フェスタに体験館が参加しました。ワークショップでは「まんまるライト」をたくさんの人々に体験していただきました。多くの来場者に豊田小原和紙を知っていただき、小原和紙のふるさとにも来ていただくようPRできたと思います。これから四季桜の季節には、多くの人に足を運んでいただきたいですね。



豊田小原和紙工芸作家工房巡り

11月25日（土）、小原和紙のふるさとから和紙工芸作家の工房を巡回する無料バスが出ます。
バス：午前9時から約1時間ごとに出発
工房：安藤則義、加納登茂美（午後3時まで）
福岡小次郎、柳瀬博隆、山内一生
※工房は変更になることがあります。

アトリエコンサート『月と和紙と山彦と』

11月25日（土）、かのうともみひさし工房（下仁木町）でコンサートが開催されます。和紙とトランペットの響きと月の光との一期一会を楽しみましょう。開演は月が出る頃ということです。トランペット奏者は曾我部清典氏、ギター岡崎リョウタ氏です。
※参加費 1,000円 予約制 01kondou@gmail.com